

マラウイ剣道連盟主催 練習交流会の開催
(2026年4月4日 於 Kamuzu Institute for Sports)



4月4日、マラウイ剣道連盟の主催する剣道練習交流会がリロングウェの Kamuzu Institute for Sportsで開催され、在マラウイ日本大使館より内藤大使ほか館員が出席しました。発起人のソンバ剣道連盟会長4段は、日本からトヨタ自動車の永田陽平氏7段を招き、マラウイの剣道愛好家に指導を行いました。

練習交流会にはタンザニアからの剣道愛好家を含め30名以上が参加し、日本語による掛け声のもと、真剣に技術の向上に努め、身体能力の高さもあり目に見える上達が見られました。

挨拶のなかで、内藤大使より、1992年にブランタイヤ派遣のJICA海外協力隊員からソンバ氏(当時14才)が素振りの手ほどきを受けることで開始したマラウイにおける剣道修養が、その後広がりを見せ、ソンバ氏の提案をもとに日本大使館もこれまで7回、日本大使杯剣道大会を開催しており、剣道の楽しさと、礼節や他者への尊敬、鍛錬を通じた人間形成、平和と社会への貢献の考えが共有されていることは素晴らしい旨述べました。

永田氏のマラウイ等訪問を実現した多数の支援者によるマラウイ剣士達への応援の想いを伝える記念旗がソンバ会長に贈られました。

本交流会には、マラウイ・スポーツ評議会、CFAOマラウイ社代表、メディアを含め多数が参集し、練習や模範試合、文化交流等が行われました。

大使スピーチ：<https://www.mw.emb-japan.go.jp/files/101008700.pdf>



永田先生と参加者



デモンストレーション